



平成 17 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
取 引 所 東証一部・大証一部 (6594)
NYSE (NJ)
所 在 地 京都市南区久世殿城町 3 3 8
問合せ先 広報宣伝部長 鳥羽 博司
電 話 (075) 935-6150

日本ビクター(株)への特許訴訟提起に関するお知らせ

日本電産株式会社（以下、日本電産）は、2005年2月15日火曜日（米国カリフォルニア時間）に、日本ビクター株式会社及びその子会社のJVC Components (Thailand) Co., Ltd.、並びにこれらの販売代理人である株式会社アジリス及びAgilis Technology Inc.（合わせて以下、JVC）に対し、米国特許第5,667,309号、第6,554,476号、第6,343,877号及び第6,793,394号の侵害を理由とする特許侵害訴訟を、米国カリフォルニア州北部地区連邦地方裁判所に提起致しました。

この4つの特許は、コンピュータのハードディスクドライブ（以下、HDD）用スピンドルモータに使用される、日本電産の流体動圧軸受（FDB）技術に関するものです。

JVCは、現在でも当該特許に関するライセンスを受けることなくスピンドルモータをHDDメーカーに供給し続けています。日本電産は、自らが他社の知的財産権を尊重するのと同様に、他社も日本電産の権利を尊重することを望んでいます。

このような経緯から、日本電産は、JVCによる米国内での侵害スピンドルモータの販売、流通及び輸入を阻止することはもちろん、米国内で販売、流通及び輸入されるHDDに組み込まれる侵害スピンドルモータのJVCによる販売及び流通を阻止することを目的として、今回の特許侵害訴訟を提起しました。

これに加えて、日本電産は、今回の特許侵害訴訟において、JVCの侵害行為に対する通常の損害賠償とともに、JVCの故意侵害に対して米国特許法で認められている三倍賠償、及び弁護士費用の賠償を求めています。

以上